

健康科学科

大澤 功

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 臨床研究結果からみる身体活動と生活習慣病。運動療法と運動処方 第2版 身体活動・運動支援を効果的に進めるための知識と技術	共著	2008年10月	文光堂	編著：佐藤祐造 執筆：大澤功, 松原達昭, 押田芳治, 山之内国男, 長崎大他	pp.17-21
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 運動療法に関する新たな展開 効果的な運動指導を実施するために — 2型糖尿病を中心として—	単著	2008年10月	別冊プラクティス 糖尿病の治療 新たな展開		pp.8-13
2. Analysis of risk factors for dental caries in infants: a comparison between urban and rural areas.	共著	2009年2月	Environmental Health and Preventive Medicine, 14(2)	Ohsuka K, Chino N, Nakagaki H, Kataoka I, Oshida Y, Ohsawa I, Sato Y	pp.103-110
3. 愛知県における糖尿病患者の足外観異常と糖尿病神経障害の実態調査成績 — 愛知県糖尿病対策推進会議—	共著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号	佐藤祐造, 志賀捷浩, 小栗貴美子, 牧靖典, 万歳登茂子, 堀田饒, 河村孝彦, 中村二郎, 大澤功, 角田博信, 丸山晋二	pp.49-56
4. 臨床研究結果からみた健康教育の効果 (第1報) — 糖尿病領域における健康教育の有用性—	単著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号		pp.57-61
5. 養護教諭学生の看護実習における目標達成のプロセス	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	大須賀恵子, 館英津子, 大澤功, 佐藤祐造	pp.1-7
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 健康情報 ウソ? ホント? — 科学的根拠に基づいた健康情報とは—	講師	2008年10月	平成20年度日進市連携公開講座：健康情報と医学, 日進	大澤功	
2. 我が国全体の学校敷地内禁煙化へ向けての一考察 — 現場の養護教諭のアンケートより—	学会発表	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋	中川恒夫, 縣裕篤, 家田重晴, 磯村毅, 稲垣幸司, 魚住君枝子, 大沢功, 谷口千枝, 吉田京	
3. 愛知学院大学 一日進キャンパス—における「受動喫煙防止キャンペーン」の取り組み	学会発表	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋	糠谷敬子, 大澤功, 小出龍郎	
4. メタボリックシンドロームと中高年の健康について：メタボはそんなに怖いのか?	講師	2008年12月	生活習慣病予防推進委員講習会, 瀬戸	大澤功	
5. 愛知県内の遊園地, 公園等の脱タバコ対策に関する調査	学会発表	2009年2月	第18回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会, 和歌山	稲垣幸司, 谷口千枝, 家田重晴, 磯村毅, 大沢功, 中川恒夫, 埴岡隆, 原めぐみ, 森田一三, 中垣晴男, 富永祐民, 野口俊英	
6. 愛知県内の遊園地, 公園等の脱タバコ対策に関する調査	学会発表	2009年2月	平成20年度愛知県小児保健協会学術研修会, 大府	稲垣幸司, 谷口千枝, 家田重晴, 磯村毅, 大沢功, 中川恒夫, 埴岡隆, 原めぐみ, 森田一三, 中垣晴男, 富永祐民, 野口俊英	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
7. 日本における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(予報)	学会発表	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会学術大会, 名古屋	津田雄介, 長崎大, 内藤正和, 渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	
8. わが国における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(第1報) —日本医師会との共同企画	学会発表	2009年5月	第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	佐藤祐造, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田茂, 大沢功, 田村好史, 今村聡, 渡邊智之	
9. 早期糖尿病腎症患者における血清シスタチンC (Cys-C) 推算 GFR の変化.	学会発表	2009年5月	第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	後藤慎一, 佐々木洋光, 渡邊有三, 大沢功, 小池晃彦, 押田芳治	
10.	一般演題座長	2009年5月	第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	大沢功	
11. 愛知県内の遊園地, 公園等の脱タバコ対策に関する調査	学会発表	2009年6月	第16回日本歯科医療福祉学会, 名古屋	稲垣幸司, 谷口千枝, 家田重晴, 磯村毅, 大沢功, 中川恒夫, 船橋香緒里, 埴岡隆, 原めぐみ, 森田一三, 中垣晴男, 野口俊英	
12. 高等学校の体育的部活動における負傷発生および入院の状況	学会発表	2009年9月	第52回東海学校保健学会総会, 名古屋	下村淳子, 森田一三, 中垣晴男, 大澤功, 佐藤祐造	
13. 愛知学院大学日進キャンパスにおける「受動喫煙防止キャンペーン」の取組み(第2報)	学会発表	2009年9月	第52回東海学校保健学会総会, 名古屋	糠谷敬子, 大澤功, 小出龍郎	
14. 愛知県内の遊園地, 公園等の脱タバコ対策に関する調査	学会発表	2009年9月	第52回東海学校保健学会総会, 名古屋	稲垣幸司, 家田重晴, 大沢功, 中川恒夫, 森田一三, 小出龍郎, 野口俊英	

大須賀恵子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 実践と理論から学ぶ高齢者福祉	共著	2009年3月	保育出版社	水野喜代志編著, 伊藤光代, 井上雅, 尹文九, 植田智也, 上田宜子, 上村美智留, 大須賀恵子他	第3章2節 pp.41-43
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Analysis of risk factors for dental caries in infants: a comparison between urban and rural areas	共著	2009年2月	Environmental Health and Preventive Medicine (2009)14	Ohsuka K, Chino N, Nakagaki H, Kataoka I, Oshida Y, Ohsawa I, Sato Y	pp.103-110
2. 養護教諭学生の看護実習における目標達成のためのプロセス	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	大須賀恵子, 館英津子, 大澤功, 佐藤祐造	pp.1-7

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. ロールプレイング形式の学習効果と課題—養護教諭学生を対象として—	学会発表	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋	舘英津子, 大須賀恵子	
2. ミニフォーラム「臨床実習の成果と今後の課題」	座長および話題提供者	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋	大須賀恵子	
3. 医療倫理と患者の責任	講師	2008年11月	日進市公開講座	大須賀恵子	
4. 高齢者施設のスタッフが認知症高齢者と関係を継続する要因	学会発表	2008年12月	第28回日本看護科学学会学術集会, 福岡	大塚静香, 野崎玲子, 長澤久美子, 小池潤, 濱畑章子, 小松美砂, 水主千鶴子, 大須賀恵子	
5. 老年看護学実習を終了した学生の認知症についての学び	学会発表	2008年12月	第28回日本看護科学学会学術集会, 福岡	野崎玲子, 濱畑章子, 小池潤, 長澤久美子, 大塚静香, 大須賀恵子	
6. 小学生の永久歯う蝕経験と生活習慣要因	学会発表	2009年7月	第55回東海公衆衛生学会, 名古屋	大須賀恵子, 松山吟珠, 渡邊智之, 中垣晴男	
7. 看護技術について, 聴診器の使い方の指導方法	講師	2009年7月	平成21年度高等学校10年経験者研修教科指導研修(教科指導研修看護科), 東郷町	大須賀恵子	
8. Level of care for older adults with dementia that students learn in gerontological nursing practicum	学会発表	2009年9月	The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, Japan	Nozaki R, Otsuka S, Nagasawa K, Hamahata A, Ohsuka K, Komatsu M	

片山和男

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 精神科看護におけるエストレスとディストレス	学会発表	2009年8月	ライフケア学会, 新潟	畔柳守男, 片山和男	
2. ライフケア学会	司会	2009年8月	ライフケア学会, 新潟	片山和男	

北村洋子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 日本口腔ケア学会認定資格 標準テキスト 下巻	共著	2008年10月	日総研出版	日本口腔ケア学会編	p.184, pp.409-410
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 補聴器に関する認識—言語聴覚科学コースに在籍する学生アンケート(1)より—	単著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号		pp.49-54

佐藤祐造

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 運動療法と運動処方第2版(佐藤祐造編)	単編	2008年10月	文光堂	編者	pp.1-392

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
2. 運動療法と運動処方第2版(佐藤祐造編) : 改訂第2版刊行にあたって	単著	2008年10月	文光堂		頁なし
3. 運動療法と運動処方第2版(佐藤祐造編) : I. 総論 1. 運動療法と運動処方に関する 近年の動向	単著	2008年10月	文光堂		pp.2-9
4. 運動療法と運動処方第2版(佐藤祐造編) : IV. 運動の種類と指導方法・注意点 6. 他動的機器による運動	共著	2008年10月	文光堂	長崎大, <u>佐藤祐造</u>	pp.256-258
5. 運動指導専門研修1(編者: 中央労働災 害防止協会): 第6節現代人の健康1 肥 満と健康	単著	2009年2月	中央労働災害防止協会		pp.224-236
6. 糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 4版 ー日本糖尿病学会専門医取得のため の研修必携ガイド(日本糖尿病学会編): 糖 尿病専門医研修ガイドブック 7. 運動療法	単著	2009年4月	診断と治療社		pp.97-106
7. 脳内老化制御とバイオマーカー: 基盤研究 と食品素材(監修: 大澤俊彦, 丸山和佳子): 第3章脳内老化予防と運動	単著	2009年5月	シーエムシー出版		pp.292-301
8. 運動指導担当者研修(編集: 中央労働災 害防止協会): 第1章生活習慣病 第5節 糖尿病	単著	2009年3月	中央労働災害防止協会		pp.81-101
9. 運動と免疫 からだをまもる運動のふし ぎ(編著: 大野秀樹, 木崎 節子): 運動と 脂質代謝と免疫	単著	2009年9月	ナッパ		pp.237-243
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 養護教諭学生の看護実習における目標達 成のためのプロセス	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身 科学部紀要, 第4号	大須賀恵子, 館英津子, 大澤功, <u>佐藤祐造</u>	pp.1-7
2. 愛知県における糖尿病患者の足外観異常 と糖尿病神経障害の実態調査成績 ー愛知 県糖尿病対策推進会議ー	共著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1 号	<u>佐藤祐造</u> , 志賀捷浩, 小栗貴美子, 牧靖典, 万歳登茂子, 堀田饒, 河村孝彦, 中村二郎, 大澤功, 角田博信, 丸山晋二	pp.49-56
3. Analysis of risk factors for dental caries in infants: a comparison between urban and rural areas.	共著	2009年2月	Environ Health Prev Med, 14巻	Ohsuka K, Chino N, Nakagaki H, Kataoka I, Oshida Y, Ohsawa I, <u>Sato Y</u>	pp.103-110
4. Mongolian plant extracts with potential glucose absorption inhibiting effects in rats.	共著	2009年5月	J. Trad. Med, 26巻2号	Khookhor O, <u>Sato Y</u>	pp.74-79
5. 特集肥満とその対策 肥満症の運動療法	単著	2008年10月	産婦人科治療, 97巻4 号		pp.390-395
6. Diabetes Frontier 糖尿病患者の運動療法	共著	2009年3月	DITN, 372号	ホスト: 渥美義仁 ゲスト: <u>佐藤祐造</u>	pp.2-3
7. 保健指導に役立つメタボリックシンドロ ームの知識	単著	2009年2月	三重医報, 579号		pp.55-57
8. 第4章管理・治療 運動療法	単著	2009年1月	最新医学別冊 新しい 診断と治療のABC59 / 代謝5 肥満症(編 集: 松澤佑次)		pp.131-138
9. 診療 controversy ー medical decision making のためにー代謝疾患における運動療法 運 動時間の立場から	単著	2009年2月	内科, 103巻2号		pp.371-375

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
10. 糖尿病と漢方	共著	2008年5月	漢方と最新治療, 17巻3号	宇野智子, Khookhor O, Bajotto G, 佐藤祐造	pp.167-172
11. (扉) Main Theme 特集 糖尿病の運動療法:理論と指導方法	単著	2009年5月	プラクティス, 26巻3号		p.263
12. (扉) Main Theme 特集 糖尿病運動療法の現状—「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」中間報告から	共著	2009年5月	プラクティス, 26巻3号	渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	pp.264-270
13. 故 松井秀治先生の御逝去を悼む	単著	2009年4月	体力科学, 58巻2号		頁無し(2頁)
14. 「心身科学」発刊に寄せて	単著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号		pp.iii-iv
15. 生活習慣病—慢性疾患と身体活動—肥満症—	単著	2009年4月	日本臨牀増刊号 身体活動・運動と生活習慣病—運動生理学と最新の予防・治療—, 67巻増刊号2		pp.241-246
16. シンポジウム1 体質とスポーツ医科学「体質と生活習慣病:糖尿病・メタボリックシンドロームを中心として」	単著	2009年2月	日本体質医学会雑誌, 71巻1号		pp.56-61
17. シンポジウム1 体質とスポーツ医科学「身体運動用ニューデバイスの活用:正常血糖クランプ法による解析」	共著	2009年2月	日本体質医学会雑誌, 71巻1号	長崎大, 佐藤祐造	pp.67-71
18. 鼎談 牛車腎気丸の効果的な使い方	共著	2009年9月	伝統医学, 12巻3号	司会: 佐藤祐造, 張民浩, 穴吹弘毅	pp.117-126
19. 巻頭言 スポーツ医科学の過去・現在・将来	単著	2009年6月	デサントスポーツ科学, 30巻		pp.1-2
20. 学校保健とメタボリックシンドローム	単著	2009年7月	教育医事新聞, 7月25日付		p.5
21. 総合医に必要な漢方の知識—common diseaseに対する漢方治療 症状・症候に対する漢方治療 糖尿病	共著	2009年8月	診断と治療, 97巻8号	佐藤祐造, 宇野智子	pp.1589-1593
22. 特集わが国の糖尿病の現況と変遷(1989-2009年) 運動療法	単著	2009年8月	Diabetes Frontier, 20巻4号		pp.470-475
23. Main Theme 特集:高齢者糖尿病のよりよい治療と管理に向けて 高齢者糖尿病の運動処方ガイドライン	単著	2009年9月	プラクティス, 26巻5号		pp.511-518
24. 特集/ストップ・ザ生活習慣病 予防と対策 運動と生活習慣病	単著	2009年9月	臨牀と研究, 86巻9号		pp.1160-1164
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 糖尿病を知ろう(37) 軽・中程度の運動を	単著	2008年10月	読売新聞, 10月7日朝刊		p.26
2. 糖尿病を知ろう(38) 軽いジョギングが有効	単著	2008年11月	読売新聞, 11月18日朝刊		p.24
3. 専門医が語る 糖尿病の運動療法	単著	2008年10月	ロッッシュ・ダイアグノスティックス(株)	監修	pp.1-11
4. 糖尿病ビデオシリーズこれならできる! 「働く人向け, 続けられるエクササイズ」—オフィスや通勤電車でもできる運動療法—		2008年11月	BANYU VIDEO LIBRARY エグゼクティブ・エディション, 万有製薬株式会社	監修・出演	
5. 暮らしの泉 Health メタボを予防しよう	単著	2008年12月	INFORMO, 59巻		pp.15-16
6. 健御膳をすすめる	単著	2009年1月	栄養と料理, 75巻1号 別冊付録		頁無し

C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
7. フィジカルヘルス・フォーラム会長挨拶	単著	2009年3月	第10回フィジカルヘルス・フォーラム報告書(編集:北海道大学保健管理センター)		pp.1-3
8. 新年のことば	単著	2009年1月	漢方の臨床, 56巻1号		p.48
9. 頼れる! 東海の漢方がスゴイ!	単著	2009年3月	カラダに効く名古屋,		pp.70-76
10. 糖尿病を知ろう(39) 体力増強で生活習慣病予防	単著	2009年2月	読売新聞, 2月3日朝刊		p.24
11. 糖尿病を知ろう(40) 運動前にメディカルチェック	単著	2009年3月	読売新聞, 3月3日朝刊		p.26
12. 卒業生へ贈る言葉(平成20年度)「自信を持つとう」	単著	2009年3月	愛知学院大学だより, 164号		p.2
13. 糖尿病を知ろう(41) 生活に運動を取り入れて	単著	2009年3月	読売新聞, 3月31日朝刊		p.34
14. 糖尿病を知ろう(42) 運動前のインスリン減らして	単著	2009年4月	読売新聞, 4月28日朝刊		p.22
15. 暮らしの泉 Health ストレスへの対応	単著	2009年3月	INFORMO, 60巻		pp.7-8
16. 糖尿病を知ろう(43) 糖代謝改善には運動療法	単著	2009年6月	読売新聞, 6月2日朝刊		p.26
17. 特集専門家に聞く 運動と血糖値管理	単著	2009年9月	暮らしいきいき(日本サプリメント), 9月号		pp.9-14
18. 暮らしの泉 Health エクササイズガイド2006	単著	2009年9月	INFORMO, 62巻		pp.7-8
19. 暮らしの泉 Health そばの効用	単著	2009年6月	INFORMO, 61巻		pp.7-8
20. 糖尿病の運動療法を始めよう! 楽しく続ける・簡単エクササイズ	共著	2009年7月	下敷き(リーフレット), 万有製薬(株)	監修: 佐藤祐造, 横野浩一 運動指導: 松井浩	
21. 健御膳をすすめる	単著	2009年7月	栄養と料理, 2009年7月号別冊付録		表紙裏
22. 第61回日本東洋医学会学術総会 会頭ご挨拶 21世紀における漢方医学・医療～基礎と臨床～	単著	2009年7月	日本東洋医学雑誌, 60巻4号		頁無し
23. 東海体育学会第57回大会のご案内	単著	2009年6月	東海体育学会会報, 82号		p.12
24. 運動時の呼吸循環応答に及ぼす低酸素暴露後の影響について	単著	2009年6月	わかりやすいデサントスポーツ科学, 13号	研究代表者: 片山敬章 解説者: 佐藤祐造	pp.3-4
25. 活動筋の酸素供給と消費の過渡応答を非侵襲計測するシステムの開発	単著	2009年6月	わかりやすいデサントスポーツ科学, 13号	研究代表者: 古賀俊策 解説者: 佐藤祐造	pp.35-36
26. 糖尿病を知ろう(44) 血糖値調整する経口薬	単著	2009年6月	読売新聞, 6月30日朝刊		p.26
27. 糖尿病を知ろう(45) 自己注射, 器具進歩し手軽に	単著	2009年8月	読売新聞, 8月4日朝刊		p.26
28. 糖尿病を知ろう(46) 知識の普及に一層努力を	単著	2009年9月	読売新聞, 9月15日朝刊		p.28
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Morning Lecture: Diabetes and Exercise: past, present and future in Japan and Korea.	学会発表	2007年10月	14 th Japan-Korea Symposium on Diabetes Mellitus, Kyoto	Sato Y	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
2. メタボリックシンドロームとは	講演会	2008年10月	平成20年度(第15回)関節リウマチと生活習慣病(糖尿病)の在宅管理と介護研修会, 名古屋	佐藤祐造	
3. 特別講演「糖尿病, 糖尿病合併症と漢方」	講演会	2008年10月	第13回日本東洋医学会東北支部秋田県部会総会, 秋田	佐藤祐造	
4. 生活習慣病/メタボリックシンドロームの予防と運動—理論と実施方法—	講演会	2008年10月	平成20年度日進市連携公開講座, 日進	佐藤祐造	
5. 保健指導に役立つメタボリックシンドロームの知識	講演会	2008年10月	愛知県医師会特定健診・保健指導に関する研修会, 豊橋	佐藤祐造	
6. シンポジウム「肥満症治療の新たな展開」	座長	2008年10月	第29回日本肥満学会, 大分	宮崎滋, 佐藤祐造	
7. 内分泌・代謝系の運動生理とトレーニング効果	講演会	2008年10月	第21回(平成20年度)健康スポーツ医学講習会(日本医師会), 東京	佐藤祐造	
8. 第1回 メタボリックシンドロームのメカニズム教えます	講演会	2008年10月	なごや健康カレッジ「誰でも出来る, 自宅で出来る メタボ解消の方法」, 日進	佐藤祐造	
9. シンポジウム「生活習慣病対策の実践検証: 特定健診と保健指導」	座長	2008年10月	第6回日本セルフメディケーション学会, 名古屋	佐藤祐造, 細川秀一	
10. 糖尿病性足壊疽の病態とフットケアの展開	座長	2008年10月	2008年度医療スタッフのための糖尿病セミナー “We are up for self-care” 糖尿病の大血管障害と療養指導—脂質異常症とフットケア—, 名古屋	佐藤祐造	
11. 高血圧・動脈硬化を防ごう—食事面を中心に—	講演会	2008年11月	OJTソリューションズ健康教室, 名古屋	佐藤祐造	
12. 高血圧・動脈硬化を防ごう—食事面を中心に—	講演会	2008年12月	OJTソリューションズ健康教室, 名古屋	佐藤祐造	
13. 「運動でメタボ対策」運動療法: 理論と実践方法	講演会	2008年11月	第46回日本糖尿病学会中国四国地方会市民公開講座, 宇部	佐藤祐造	
14. 糖尿病と運動療法	講演会	2008年11月	糖尿病週間講演会(みなと医療生活協同組合協立総合病院), 名古屋	佐藤祐造	
15. 運動プログラムの管理 糖尿病を合併する場合のプログラム	講演会	2008年11月	平成20年度健康運動指導士養成講習会, 大阪	佐藤祐造	
16. 健康づくり施策概論 生活習慣病と運動疫学	講演会	2008年11月	平成20年度健康運動指導士養成講習会後期愛知会場, 名古屋	佐藤祐造	
17. 健康づくり施策概論 運動基準・運動指針	講演会	2008年11月	平成20年度健康運動指導士養成講習会後期愛知会場, 名古屋	佐藤祐造	
18. 保健指導に役立つメタボリックシンドロームの知識	講演会	2008年11月	平成20年度第1回三重県医師会スポーツ医学研修会, 津	佐藤祐造	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
19.	名誉 学会 長	2008年11月	第55回日本学校保健学 会, 名古屋	佐藤祐造	
20. 教育講演「大学での喫煙対策 —私学での 取り組み—」	座長	2008年11月	第55回日本学校保健学 会, 名古屋	佐藤祐造	
21. 特別講演「学校保健とメタボリックシン ドローム」	学会 発表	2008年11月	第55回日本学校保健学 会, 名古屋	佐藤祐造	
22. 第8回総括 参加後の形態測定, 血液生 化学検査	講演 会	2008年12月	なごや健康カレッジ 「誰でも出来る, 自宅で 出来る メタボ解消の 方法」, 日進	佐藤祐造	
23. 生活習慣病 糖尿病 (1)	講演 会	2008年12月	平成20年度健康運動指 導士養成講習会後期大 阪会場, 大阪	佐藤祐造	
24. 生活習慣病 糖尿病 (2)	講演 会	2008年12月	平成20年度健康運動指 導士養成講習会後期大 阪会場, 大阪	佐藤祐造	
25. 職域集団における生活習慣病ハイリス ク者の食生活状況評価法の検討	学会 発表	2009年1月	第12回日本病態栄養学 会年次学術集会, 京都	酒井映子, 森圭子, 末田香里, 佐藤祐造	
26. 糖尿病の運動療法: 新しい情報	講演 会	2009年1月	第46回日本糖尿病学会 関東甲信越地方会「市 民公開講座」, 横浜	佐藤祐造	
27. メタボリックシンドロームの予防: 歯 科医の果たす役割	講演 会	2009年1月	第7回日本スポーツ歯 科医学会認定研修会, 名古屋	佐藤祐造	
28. 生活習慣病 糖尿病 (1)	講演 会	2009年1月	平成20年度健康運動指 導士養成講習会後期大 阪会場, 大阪	佐藤祐造	
29. 生活習慣病 糖尿病 (2)	講演 会	2009年1月	平成20年度健康運動指 導士養成講習会後期大 阪会場, 大阪	佐藤祐造	
30. 運動プログラムの管理 (3) 糖尿病を合 併する場合のプログラム	講演 会	2009年2月	平成20年度健康運動指 導士養成講習会後期愛 知会場, 日進	佐藤祐造	
31. 運動プログラムの管理 (2) 高血圧を合 併する場合のプログラム	講演 会	2009年2月	平成20年度健康運動指 導士養成講習会後期愛 知会場, 日進	佐藤祐造	
32. 内科的疾患予防改善のためのアクアフ ィットネスの適応と禁忌	講演 会	2009年2月	平成20年度メディカル アクアフィットネスイ ンストラクター (内科 的疾患予防改善) 資格 取得講習会, 東京	佐藤祐造	
33. 生活習慣病と運動処方	講演 会	2009年2月	平成20年度スポーツウ ェルネス指導者養成講 座(磐田市), 磐田	佐藤祐造	
34. 運動の効果～具体的な運動処方につい て	講演 会	2009年2月	平成20年度スポーツウ ェルネス指導者養成講 座(磐田市), 磐田	佐藤祐造	
35. 糖尿病患者における運動療法	講演 会	2009年2月	糖尿病における運動療 法の勉強会, 名古屋	佐藤祐造	
36. レクチャー 糖尿病療養指導に必要な 知識2 糖尿病の運動療法	座長	2009年2月	第43回糖尿病学の進 歩, 松本	佐藤祐造	
37. 特別講演「糖尿病の運動療法をめぐる最 近の話題」	講演 会	2009年2月	第9回東神戸糖尿病懇 話会, 神戸	佐藤祐造	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
38. 現代人の健康 I 肥満と健康	講演会	2009年2月	平成20年度運動指導専門研修会(中央労働災害防止協会), 東京	佐藤祐造	
39. 糖尿病薬物療法の Up Date	座長	2009年2月	平成20年度愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会, 岡崎	佐藤祐造	
40. シンポジウム「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインの効率的運用」	座長	2009年3月	平成20年度学校保健シンポジウム(愛知県医師会), 名古屋	長嶋正實, 佐藤祐造	
41. 運動と健康 メタボリックシンドロームを中心に	講演会	2009年3月	津島市市民大学講座, 津島	佐藤祐造	
42. 特別講演「糖尿病と運動療法」“理論と運動の方法”	講演会	2009年3月	第27回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会, 名古屋	佐藤祐造	
43. メタボリックシンドロームの予防と運動	講演会	2009年3月	名拳会年次学術総会, 名古屋	佐藤祐造	
44. 生活習慣病の予防と運動—糖尿病を中心に—	講演会	2009年3月	第11回スポーツ推薦入学者オリエンテーション模擬講義(愛知学院大学), 日進	佐藤祐造	
45. 運動療法—基礎から臨床応用—	講演会	2009年3月	Diabetes Face to Face SM 出雲糖尿病懇話会, 出雲	佐藤祐造	
46. 特別講演「健康指導に役立つメタボリックシンドロームの知識」	講演会	2009年4月	日本食品保健指導士会東海支部結成総会, 名古屋	佐藤祐造	
47. 生活習慣病(成人病) 糖尿病(1)	講演会	2009年4月	平成21年度健康運動指導士養成講習会前期京都会場, 京都	佐藤祐造	
48. 生活習慣病(成人病) 糖尿病(2)	講演会	2009年4月	平成21年度健康運動指導士養成講習会前期京都会場, 京都	佐藤祐造	
49. 特別講演「筋・神経の特性は筋が決める?!」	座長	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会, 名古屋	佐藤祐造	
50	理事長	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会, 名古屋	佐藤祐造	
51. 日本における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(予報)	学会発表	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会, 名古屋	津田雄介, 長崎大, 内藤正和, 渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	
52. 生活習慣病予防と運動(糖尿病)	講演会	2009年3月	平成20年度第1回運動指導担当者研修会, 東京	佐藤祐造	
53. 20歳から69歳国民に必要な身体活動量・運動量・体力 生活習慣病患者の運動・身体活動	講演会	2009年5月	新しいエクササイズガイドの策定に関する研究会, 東京	佐藤祐造	
54. 教育講演「運動療法」	学会発表	2009年5月	第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	佐藤祐造	
55. わが国における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(第一報)—日本医師会との共同企画—	学会発表	2009年5月	第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	佐藤祐造, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田茂, 大澤功, 田村好史, 今村聡, 渡邊智之	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
56. Hippophae hamnoides extracts with potential glucose utilization enhancing effect in rats.	学会発表	2009年5月	第52回日本糖尿病学会 年次学術集会, 大阪	Khookhor O, Bajotto G, Sato Y	
57. 生活習慣病予防の最前線 糖尿病/メタボリックシンドロームを中心として	講演会	2009年6月	平成21年度愛知学院大学公開講座, 日進	佐藤祐造	
58. 生活習慣病と運動処方	講演会	2009年6月	平成21年度スポーツウェルネス指導者養成講座, 三島	佐藤祐造	
59. 運動の効果～具体的な運動処方について～	講演会	2009年6月	平成21年度スポーツウェルネス指導者養成講座, 三島	佐藤祐造	
60. 会長講演「「体質医学」は「予防医学」」	座長	2009年7月	第59回日本体質医学会 総会, 東京	佐藤祐造	
61. メタボリックシンドロームの予防と運動	講演会	2009年7月	岐阜県医師会健康スポーツ医学再研修会, 岐阜	佐藤祐造	
62. 肥満予防改善のための医学的最新版情報	講演会	2009年7月	平成21年度アクアフィットネス&アクアダンスインストラクター全国研修会, 東京	佐藤祐造	
63. 運動療法 —運動療法と血糖調節を中心に—	講演会	2009年6月	Diabetes Face to Face SM Lilly Web Conferences, 名古屋	佐藤祐造	
64. 特別企画「学会のこれから～学会の中長期展望～」21世紀における漢方医学・医療～基礎と臨床～	学会発表	2009年6月	第60回日本東洋医学会 学術総会, 東京	佐藤祐造	
65. 生活習慣病予防の最前線 糖尿病/メタボリックシンドロームを中心として	講演会	2009年6月	平成21年度名古屋市連携公開講座「食」と健康—22世紀に向けて—, 名古屋	佐藤祐造	
66. メタボリックシンドロームの予防と運動	講演会	2009年6月	平成21年度愛知学院大学支部懇談会, 浜松	佐藤祐造	
67. メタボリックシンドロームの予防と運動	講演会	2009年6月	平成21年度愛知学院大学支部懇談会, 静岡	佐藤祐造	
68. メタボリックシンドロームの予防と運動	講演会	2009年6月	平成21年度愛知学院大学支部懇談会, 春日井	佐藤祐造	
69. 生活習慣病の運動処方(肥満・糖尿病・脂質異常症)	講演会	2009年7月	第20回日本体力医学会 スポーツ医学研修会, 東京	佐藤祐造	
70. 牛車腎気丸の効果的な使い方	鼎談	2009年7月	「伝統医学」45号鼎談, 東京	司会: 佐藤祐造, 張民浩, 穴吹弘毅	
71. 高等学校の体育的部活動における負傷発生および入院の状況	学会発表	2009年9月	第52回東海学校保健学会 総会, 名古屋	下村淳子, 森田一三, 中垣晴男, 大澤功, 佐藤祐造	
72.	理事長	2009年9月	第52回東海学校保健学会 総会, 名古屋	佐藤祐造	
73. ポスター 生活習慣指導	座長	2009年9月	第50回日本人間ドック 学会学術大会, 東京	佐藤祐造	
74. in vivo インスリン感受性に及ぼすアディポネクチンの効果	学会発表	2009年9月	第64回日本体力医学会 大会, 新潟	長澤純一, 高井俊英, 坂口明, 大野秀樹, 佐藤祐造	
75. 学術講演「糖尿病運動療法の最新の知見」	講演会	2009年9月	第24回糖尿病セミナー 「おおさか」, 大阪	佐藤祐造	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
76. 特別講演「運動療法 過去・現在・将来」	講演会	2009年9月	第3回西東京糖尿病運動指導スキルアップセミナー, 八王子	佐藤祐造	

下村淳子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 教室への空調設備導入による高校生の健康状態と保健室利用の変化	共著	2008年12月	愛知教育大学保健環境センター紀要, Vol.7	大野志保, 吉田正, 下村淳子	pp.13-19
2. 高校生に対する健康教育の継続的な実践に関わるプロセスの検討	単著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号		pp.31-38
3. 教室への空調設備導入が高校生の健康状態と学習活動にもたらす影響	共著	2009年9月	東海学校保健研究, 33巻1号	下村淳子, 大野志保, 吉田正	pp.83-90
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. トピックス「教員免許更新講習」	単著	2009年3月	日本養護教諭養成大学協議会, Newsletter Vol.8		p.3
2. シンポジウム報告「健康相談活動からとらえる養護教諭の専門性」	共著	2009年3月	日本健康相談活動学会誌, 4巻1号	三木とみ子, 下村淳子, 榎本和, 内山敏, 駒田玉美, 浅田知恵	pp.100-102
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 工業高校生が望む性教育のテーマの検討—カフェテリア方式による実践の検討—	学会発表	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋	牛山美奈, 下村淳子	
2. 高校生の教室における空調設備と保健室利用状況について	学会発表	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋	大野志保, 下村淳子, 吉田正	
3. 救急処置事例を元にしたレポートのまとめ方	講師	2009年1月	平成20年度岡崎市現職研修養護教諭部会テーマ別研究会, 岡崎	下村淳子	
4. 平成20年度愛知県立学校新規採用養護教諭研修	研修指導員	2009年3月	愛知県立安城高等学校, 安城	下村淳子	
5. 救急処置事例からの効果的な健康相談活動の進め方	講師	2009年7月	平成21年度岡崎市現職研修養護教諭部会テーマ別研究会, 岡崎	下村淳子	
6. 高等学校の体育的部活動における負傷発生および入院の状況	学会発表	2009年9月	第52回東海学校保健学会, 名古屋	下村淳子, 森田一三, 中垣晴男, 大澤功, 佐藤祐造	

水藤弘史

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. The effect of fatigue on the underwater arm stroke motion in the 100-m front crawl	共著	2008年11月	Journal of Applied Biomechanics, 24(4)	Suito H, Ikegami Y, Nunome H, Sano S, Shinkai H, Tsujimoto N	pp.316-324
2. 競泳—水上と水中の映像を分析する—	単著	2008年11月	体育の科学, 58(11)		pp.775-779
3. 腕振りの制約が走動作に及ぼす影響	共著	2009年8月	バイオメカニクス研究, 13(2)	辻本典央, 水藤弘史, 新海宏成, 布目寛幸, 池上康男	pp.38-50

C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 競泳オリンピック準強化選手を対象としたコントロールテストの実施報告	共著	2009年3月	平成20年度「ジュニア水泳の育成に関わる科学支援事業」	松井健, 野村照夫, 寺本圭輔, 村松愛梨奈, 水藤弘史, 赤井聡文	pp.3-6
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 自宅でできる運動の方法②(自重的筋力トレーニング)	講演会	2008年11月	なごや健康カレッジ「誰でもできる, 自宅でできるメタボ解消の方法」	水藤弘史	
2. 水上から水中へ移動する動作における3次元動作分析の精度	学会発表	2008年11月	東海体育学会第56回大会, 三重	水藤弘史	
3. The arm stroke motion from catch to pull phase in front crawl swimming.	学会発表	2009年7月	XXIIInd Congress of the International Society of Biomechanics Cape town / South Africa, 5-9, July	Suito H	
4. クロールにおけるストローク技術について	講演会	2009年7月	文部科学省平成21年度社会連携研究推進事業グリーンバイオ創製プロジェクト, 名城大学	水藤弘史	
5. 疲労がクロール泳中のストローク動作に及ぼす影響	学会発表	2009年8月	日本体育学会第60回記念大会, 広島	水藤弘史	
6. クロールにおけるストローク技術の評価法について	講演会	2009年10月	東海体育学会課題研究発表, 愛知工業大学	水藤弘史	

高田正義

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. ラグビー選手の栄養摂取と健康管理	共著	2009年3月	名古屋学芸大学健康・栄養研究所年報, 第3号	石黒裕子, 田村明, 青石恵子, 小出龍郎, 青石哲也, 菅野昌明, 高田正義	pp.31-37
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 認知トレーニング	主宰	2008年10月	第61回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
2. メンタル・トレーニング	講演会	2008年10月	平成20年度「体育スポーツ実践講座」, 愛知県スポーツ会館, 名古屋	高田正義	
3. 心のフィットネス	講演会	2008年10月	知多市立知多中学校, 学校保健委員会講演	高田正義	
4. セルフ・トーク	主宰	2008年11月	第62回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
5. メタボの解消のヒ・ミ・ツ〜本当の方法教えます〜, 行動変容について, ~運動を継続するためのアプローチ~	講演会	2008年11月	なごや健康カレッジ, 名古屋	高田正義	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
6. 身体的ストレス・マネジメント	主宰	2008年12月	第63回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
7. 認知的ストレス・マネジメント	主宰	2009年1月	第64回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
8. サイキアップとサイキアウト	主宰	2009年2月	第65回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
9. 運動と心の健康増進, ~健康づくりと運動カウンセリング~	講演会	2009年2月	平成20年度 健康運動指導士養成講習会, 日進	高田正義	
10. 健康づくり運動の実際, ストレッチングと柔軟体操の実際	実技指導	2009年2月	平成20年度 健康運動指導士養成講習会, 日進	高田正義	
11. 健康づくり運動の実際, ウォーミングアップとクーリングダウン	実技指導	2009年2月	平成20年度 健康運動指導士養成講習会, 日進	高田正義	
12. 心のフィットネス, メンタルトレーニングの重要性とその効果	講演会	2009年2月	平成20年度 岡崎市体育協会, スポーツ大学, 岡崎	高田正義	
13. リーダーとして何が必要なのか, ~リーダーのあり方, 組織のまとめ方~	講演会	2009年2月	平成20年度 四日市大学リーダーシップ講習会, 四日市	高田正義	
14. サイキアップとサイキアウト	主宰	2009年2月	第65回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
15. セルフ・コンディショニング	主宰	2009年3月	第66回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
16. メンタルトレーニングとは何か	講演会	2009年3月	平成20年度 新入生オリエンテーション, 日進	高田正義	
17. 10mスプリント走とスクワットジャンプパワーの関係	学会発表	2009年3月	日本ラグビー学会第2回大会, 大阪	菅野昌明, 高田正義	
18. 大学ラグビー選手の日常練習時における発汗量とミネラル損失量	学会発表	2009年3月	平成20年度 第13回日本体力医学会, 名古屋	石黒裕子, 田村明, 前田涼, 小澤良太, 高田正義	
19. 大学ラグビー選手の食事意識を変える試み	学会発表	2009年3月	平成20年度 第13回日本体力医学会, 名古屋	田村明, 石黒裕子, 菅野昌明, 青石哲也, 高田正義	
20. 心理的スキルの日常での活用	主宰	2009年4月	第67回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
21. 試合のための心理的準備	主宰	2009年5月	第68回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
22. 現場でのメンタルトレーニングと心理的サポート	主宰	2009年6月	第69回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
23. 心のフィットネス	講演会	2009年6月	愛知県教育委員会講演, 愛知県スポーツ会館, 名古屋	高田正義	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
24. スポーツの現場と心理的問題	主宰	2009年7月	第70回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
25. メンタル面の強化とは	主宰	2009年8月	第71回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
26. 夏のメントレ'09, メンタルトレーニングとは何か	主宰	2009年8月	メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 短期集中講習会	高田正義	
27. 実力の発揮とは	主宰	2009年9月	第72回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
F (学会の開催)					
学会の名称	発表形式	発表年月	開催地	役職	該当頁
1. 日本スポーツ心理学会第35回記念大会		2008年11月	愛知県名古屋, 中京大学	実行委員	

高見 観

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 日本口腔ケア学会認定資格 標準テキスト	共著	2008年10月	日総研	鈴木俊夫, 高見観他	p.182, 186, 405, 406, 414, 415
B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 構音障害を呈した片側性口唇顎口蓋裂患児の口蓋形態—非接触型三次元形状計測装置による評価—	共著	2009年	愛院大歯誌, 47(1)	富永智子, 高見観他	pp.7-16
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 構音障害を呈した片側性口唇顎口蓋裂患児の口蓋形態—非接触型三次元形状計測装置による評価—	学会発表	2008年12月	第73回愛知学院大学歯学会, 名古屋	富永智子, 高見観他	
2. 構音指導の理論と実際	研修会	2009年9月	岐阜市ことばの教室指導者育成研修	高見観	

辰巳 寛

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Association between apathy/depression and executive function in patients with Alzheimer's disease	共著	2008年10月	Int Psychogeriatr, 20(5)	Nakaaki S, Murata Y, Sato J, Shinagawa Y, Hongo J, Tatsumi H, Hirono N, Mimura M, Furukawa TA	pp.964-975
2. Impact of Depression on Insight Into Memory Capacity in Patients With Alzheimer Disease	共著	2008年10月	Alzheimer Dis Assoc Disord, 22(4)	Nakaaki S, Murata Y, Sato J, Shinagawa Y, Hongo J, Tatsumi H, Hirono N, Mimura M, Furukawa TA	pp.369-374

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
3. SPECT-Identified Neuroanatomical Predictor of the Cognitive Effects of Donepezil Treatment in Patients with Alzheimer Disease	共著	2008年12月	Dement Geriatr Cogn Disord, 26(6)	Hongo J, Nakaaki S, Shinagawa Y, Murata Y, Sato J, Tatsumi H, Tohyama J, Soma T, Iidaka T, Fukui T, Mimura M, Furukawa TA	pp.556-566
4. Neuropsychiatric symptoms predict change in quality of life of Alzheimer Disease patients : A two-year follow- up study	共著	2009年6月	Psychiatry Clin Neurosci, 63(6)	Tatsumi H, Nakaaki S, Torii K, Shinagawa Y, Hongo J, Watanabe N, Murata Y, Sato J, Hongo J, Mimura M, Furukawa TA	pp.374-384
5. 脳梁梗塞により左右手に異なる失書を呈した両手利きの一例	共著	2009年9月	高次脳機能研究, 第29巻, 第3号	黒崎芳子, 辰巳寛, 田中久, 波多野和夫	pp.356-365

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 認知症の正しい理解とケア —華麗(加齢)能力のための認知リハビリテーション—	講演会	2008年10月	日進市公開講座, 日進	辰巳寛	
2. 認知症における言語とコミュニケーションの障害	代表世話人	2008年11月	第16回認知症ケア勉強会, 名古屋	辰巳寛	
3. 脳外傷者の展望記憶における病変部位の影響について —存在想起と内容想起に関する検討—	学会発表	2008年11月	第32回日本高次脳機能障害学会, 松山	黒崎芳子, 梅田聡, 寺澤悠理, 加藤元一郎, 辰巳寛, 富田栄幸, 佐藤貴英, 宮原保之	
4. 覚醒下開頭術における術中言語評価	幹事世話人	2008年12月	第16回東海神経心理・神経精神・行動神経学・認知リハビリテーション研究会, 名古屋	辰巳寛	
5. 認知症診療における神経心理検査の有用性について	代表世話人	2009年1月	第17回認知症ケア勉強会, 名古屋	辰巳寛	
6. 高次脳機能障害と認知症における行為の問題とリハビリテーション	代表世話人	2009年5月	第18回認知症ケア勉強会, 名古屋	辰巳寛	
7. パーキンソン病の前頭葉機能	幹事世話人	2009年5月	第17回東海神経心理・神経精神・行動神経学・認知リハビリテーション研究会, 名古屋	辰巳寛	
8. アルツハイマー型認知症患者のQOLとBPSD	講演会	2009年7月	第16回認知症を語る会, 名古屋	辰巳寛	
9. 摂食・嚥下機能障害患者の社会参加を支援する在宅リハビリテーションの考え方	講演会	2009年9月	第4回春日井在宅看護勉強会, 春日井	辰巳寛	

玉川達雄

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 日本の結核対策	共著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号	玉川達雄, 青石恵子, 森山恭子, 宇野智子, 小出龍郎	pp.15-22

内藤正和

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 地域の状況を踏まえた大学の地域貢献の在り方に関する研究	単著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	内藤正和	pp.55-62
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 「日進市スポーツ振興基本計画」アンケート調査報告書	単著	2009年2月	日進市教育振興部スポーツ課		
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 運動・スポーツによる大学の地域貢献活動に関する研究 ―地域のニーズに着目して―	学会発表	2008年11月	日本体育・スポーツ政策学会第18回大会, 千代田区	内藤正和	
2. 総合型地域スポーツクラブ	講演	2009年1月	日進市で一番受けたい授業	内藤正和	
3. スポーツ選手としてのキャリア形成	講義	2009年3月	愛知学院大学スポーツ推薦入学者オリエンテーション	内藤正和	
4. 日本における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(予報)	学会発表	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会学術集会	津田雄介, 長崎大, 内藤正和, 渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	
5. これだけは知っておきたいスポーツの話	講演	2009年7月	豊明市民体育大会総合開会式	内藤正和	

長崎 大

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 健康づくり運動の実際ウォーキングとジョギング(1) 実習	実技指導	2009年2月	平成20年度健康運動指導士養成講習会, 愛知会場	長崎大	
2. 健康づくり運動の実際ウォーキングとジョギング(2) 実習	実技指導	2009年2月	平成20年度健康運動指導士養成講習会, 愛知会場	長崎大	
3. セッション II	座長	2009年3月	第13回体力医学会東海地方会, 名古屋	長崎大	
4. 日本における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(予報)	学会発表	2009年3月	第13回体力医学会東海地方会, 名古屋	津田雄介, 長崎大, 内藤正和, 渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	
5.	庶務幹事	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会学術集会, 名古屋	長崎大	
6. 運動とカラダ, 学びのトリセツ～体育・スポーツ系が目指すもの～	模擬授業	2009年4月	オープンキャンパス模擬授業, 日進	長崎大	
7. 運動とカラダ, 学びのトリセツ～体育・スポーツ系が目指すもの～	模擬授業	2009年8月	オープンキャンパス模擬授業, 日進	長崎大	
8. 運動とカラダ, 学びのトリセツ～体育・スポーツ系が目指すもの～	模擬授業	2009年8月	オープンキャンパス模擬授業, 日進	長崎大	
9. 健康づくり運動の実際静的レジスタンストレーニング実習	実技指導	2009年8月	平成21年度健康運動指導士養成講習会, 京都会場	長崎大	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
10. 健康づくり運動の実際動的レジスタンストレーニング 実習	実技指導	2009年8月	平成21年度健康運動指導士養成講習会, 京都会場	長崎大	

古川博雄

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Mutations in BMP4 are associated with subepithelial, microform, and overt cleft lip	共著	2009年3月	Am J Hum Genet., 84(3)	Suzuki S, Marazita ML, Cooper ME, Miwa N, Hing A, Jugessur A, Natsume N, Shimozato K, Ohbayashi N, Suzuki Y, Niimi T, Minami K, Yamamoto M, Altannamar TJ, Erkhembaatar T, Furukawa H, Daack-Hirsch S, L'heureux J, Brandon CA, Weinberg SM, Neiswanger K, Deleyiannis FW, de Salamanca JE, Vieira AR, Lidral AC, Martin JF, Murray JC	pp.406-411
2. 構音障害を呈した片側性口唇顎口蓋裂患児の口蓋形態 非接触型三次元形状計測装置による評価	共著	2009年3月	愛知学院大学歯学会誌, 47(1)	富永智子, 伊藤美知恵, 井上知佐子, 早川統子, 名倉知里, 岩田阿佑美, 高見観, 牧野日和, 古川博雄, 南克浩, 新美照幸, 豊田哲郎, 夏目長門, 岩田敏男, 後藤滋巳, 加藤正子	pp.7-16
3. 第4回口ほどモノを言う!? 実務に役立つ口腔知識 口臭	共著	2009年3月	介護支援専門員, 11(2) (メディカルレビュー社)	井上知佐子, 伊藤美知恵, 富永智子, 早川統子, 名倉知里, 古川博雄, 夏目長門	pp.34-36
4. 上顎腫瘍切除患者の発音機能に関する研究 皮弁症例について	共著	2009年6月	顎顔面補綴, 32(1)	岡崎祥子, 井上知佐子, 尾澤昌悟, 天野優一郎, 宮前真, 吉岡文, 浅見和哉, 佐藤徹, 伊藤美知恵, 古川博雄, 夏目長門, 田中貴信	pp.1-5
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. お子さんやお孫さんの言葉は大丈夫? —構音障害の基礎知識—	講演会	2008年10月	平成20年度病院公開講座&千種区生涯学習講座 共同企画 第2回, 愛知	古川博雄	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
2. 創外上顎骨延長装置(RED システム)を用いて上顎骨延長術を施行した患者の口腔ケアについて	学会発表	2008年11月	第5回日本口腔ケア学会総会学術大会, 沖縄	田中智恵子, 長内司, 若山清美, 水野敏子, 古川博雄, 夏目長門	
3. 口唇, 口蓋裂患児の術前治療 Nasal stent 付き人工口蓋床の治療効果	学会発表	2008年12月	第41回日本小児外科学会東海地方会, 愛知	古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 鈴木聡, 上谷美幸, 藤原久美子, 夏目長門, 加納欣徳	
4. 構音障害を呈した片側性口唇顎口蓋裂患児の口蓋形態 非接触型三次元形状計測装置による評価	学会発表	2008年12月	第73回愛知学院大学歯学会学術集会, 愛知	富永智子, 伊藤美知恵, 井上知佐子, 早川統子, 名倉知里, 岩田阿佑美, 高見観, 古川博雄, 南克弘, 新美照幸, 豊田哲郎, 夏目長門, 牧野日和, 亀山洋一郎, 岩田敏男, 後藤滋巳, 加藤正子	
5. 口唇口蓋裂患者に対するインプラント治療の経験	学会発表	2009年4月	第63回日本口腔科学会学術集会, 静岡	南克浩, 井村英人, 藤原久美子, 新美照幸, 古川博雄, 尾澤昌悟, 村上弘, 服部正巳, 田中貴信, 夏目長門	
6. 上顎腫瘍切除後患者の言語機能評価 異聴傾向について	学会発表	2009年4月	第63回日本口腔科学会学術集会, 静岡	井上知佐子, 伊藤美知恵, 富永智子, 早川統子, 名倉知里, 岩田阿佑美, 高見観, 古川博雄, 夏目長門, 尾澤昌悟, 天野優一郎, 宮前真, 田中貴信	
7. シンポジウムⅢ, わが国における PNAM 法の導入と将来への展望 術前 nasal stent 付き人工口蓋床と術後鼻孔レティナとの相乗効果	学会発表 シンポジスト	2009年5月	第33回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	古川博雄	
8. 口唇・口蓋裂に関する実験的研究(第125報) 口唇口蓋裂を伴った自然発生顎顔面異常ビーグル犬について	学会発表	2009年5月	第33回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	仲間錠嗣, 石川拓, 鈴木聡, 長瀬好和, 夏目長門, 古川博雄, 牧志祥子, 藤原久美子, 早川統子, 新崎章, 新垣敬一, 新美照幸, 井村英人, 名倉知里, 砂川元, 天願俊泉, 南克浩, 広瀬紀子, 加藤大貴	
9. モンゴル国における口腔先天異常疾患関連遺伝子解析研究と国際協力	学会発表	2009年6月	第42回日本小児外科学会東海地方会, 金沢	夏目長門, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 牧野日和, 名倉知里, 早川統子, 鈴木聡, 仲間錠嗣, 井村英人, 藤原久美子, Tserenkhand Tsooj, Lkhagva Ochire, 吉田和加, 前田初彦, 柳原保, 千田彰	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
10. 口唇口蓋裂患者に対する口内型骨延長装置を用いた上顎骨延長術の経験	学会発表	2009年6月	第19回日本顎変形症学会総会, 宮城	井村英人, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 鈴木聡, 菅原利夫, 夏目長門, 吉田憲司	
11. 口唇・口蓋裂患者におけるメチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素遺伝子 C677T 多型のアレル頻度に関する検討	学会発表	2009年9月	第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟	吉田和加, 越路千佳子, 古川博雄, 新美照幸, 佐藤恵美子, 久保勝俊, 杉田好彦, 夏目長門, 前田初彦	

村松 喬

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 第3の生命鎖糖鎖の謎が今, 分かる: リンパ球がはたらくときの糖鎖の役割	分担執筆	2009年2月			pp.118-122
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Midkine is highly expressed in neuroblastoma tissues.	共著	2008年12月	Pediatr. Surg. Int, 24巻12号	Fiegel HC, Kaifi J T, Wachowiak R, Quaas A, Aridome K, Ichihara-Tanaka K, <u>Muramatsu T</u> , Metzger R, Izbicki J R, Erttmann R, Kluth D, Till H.	pp.1355-1359
2. Dopaminergic hypofunctions and prepulse inhibition deficits in mice lacking midkine.	共著	2009年4月	Prog. Neuropsychopharmacol. Biol. Psychiatry, 33巻3号	Ohgake S, Shimizu E, Hashimoto K, Okamura N, Koike K, Koizumi H, Fujisaki M, Kanahara N, Matsuda S, Sutoh C, Matsuzawa D, Muramatsu H, <u>Muramatsu T</u> , Iyo M.	pp.541-546
3. Heparan sulfate proteoglycans are receptors for the cell-surface trafficking and biological activity of transglutaminase-2.	共著	2009年7月	J. Biol. Chem, 284巻27号	Scarpellini A, Germack R, Lortat-Jacob H, <u>Muramatsu T</u> , Billett E, Johnson T, Verderio EA.	pp.18411-18423
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. シンポジウム講演「Midkine and pleiotrophin as molecular targets for cancer therapy」	国際シンポジウム発表	2009年3月	Clinical and Translational Research on Cancer, Toba, Japan	<u>Muramatsu T</u> .	

山本正彦

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 新臨床内科学, 第9版: 第9章 神経疾患: 末梢神経疾患	共著	2009年1月	医学書院	山本正彦, 祖父江元, 他	pp.1209-1221

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
2. 自律神経機能検査の最近の進歩：神経栄養因子	共著	印刷中	自律神経学会	山本正彦, 祖父江元, 他	
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Electrophysiological features of late-onset transthyretin Met30 familial amyloid polyneuropathy unrelated to endemic foci.	共著	2008年10月	J Neurol, 255(10)	Koike H, Kawagashira Y, Iijima M, Yamamoto M, Hattori N, Tanaka F, Hirayama M, Ando Y, Ikeda S, Sobue G	pp.1526-1533
2. Neuropathic pain correlates with myelinated fiber loss and cytokine profile in POEMS syndrome.	共著	2008年10月	J Neurol Neurosurg Psychiatry, 79(10)	Koike H, Iijima M, Mori K, Yamamoto M, Hattori N, Watanabe H, Tanaka F, Doyu M, Sobue G	pp.1171-1179
3. Exploration of pathogenesis-associated molecules and development of disease models for sporadic ALS.	共著	2008年11月	Rinsho Shinkeigaku, 48(11)	Yamamoto M, Tanaka F, Sobue G	pp.970-972
4. The significance of carpal tunnel syndrome in transthyretin Val30Met familial amyloid polyneuropathy.	共著	2009年7月	Amyloid, Jul 15:1-7	Koike H, Morozumi S, Kawagashira Y, Iijima M, Yamamoto M, Hattori N, Tanaka F, Nakamura T, Hirayama M, Ando Y, Ikeda SI, Sobue G	Epub
5. Distinct characteristics of amyloid deposits in early- and late-onset transthyretin Val30Met familial amyloid polyneuropathy.	共著	2009年8月	J Neurol Sci, Aug 24	Koike H, Ando Y, Ueda M, Kawagashira Y, Iijima M, Fujitake J, Hayashi M, Yamamoto M, Mukai E, Nakamura T, Katsuno M, Hattori N, Sobue G	Epub
6. Single nucleotide polymorphism of TAG-1 influences IVIg responsiveness of Japanese patients with CIDP.	共著	2009年9月	Neurology, Sep 23	Iijima M, Tomita M, Morozumi S, Kawagashira Y, Nakamura T, Koike H, Katsuno M, Hattori N, Tanaka F, Yamamoto M, Sobue G	Epub
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Dynactin1ノックダウンによる運動ニューロン変性の病態	学会発表	2009年1月	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究」班会議, 東京	和座雅浩, 田中章景, 黄哲, 蔣月梅, 勝野雅央, 勝又竜, 井口洋平, 曾根淳, 飯島正博, 山本正彦, 祖父江元	
2. Dynactin-1ノックダウン線虫モデル	学会発表	2009年5月	第50回日本神経学会総会, 仙台	和座雅浩, 田中章景, 蔣月梅, 黄哲, 勝野雅央, 足立弘明, 山本正彦, 祖父江元	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
3. FAP ATTR Val30Met の若年発症例と高齢発症例の比較からみたアミロイド沈着の病態解析	学会発表	2009年5月	第50回日本神経学会総会, 仙台	高木伸之助, 小池春樹, 富田稔, 両角佐織, 川頭祐一, 飯島正博, 服部直樹, 山本正彦, 藤竹純子, 林理之, 向井栄一郎, 斉藤史織, 安東由喜雄, 祖父江元	
4. Distinct Characteristics of Amyloid Deposits in Early- Andlate-Onset Transthyretin Val30met Familial Amyloidpolyneuropathy	学会発表	2009年7月	2009 Biennial Meeting, Wurzburg, Germany	Koike H, Ando Y, Ueda M, Kawagashira Y, Iijima M, Fujitake J, Hayashi M, Yamamoto M, Mukai E, Hattori N, Sobue G	
5. 家族性アミロイドポリニューロパチーの若年発症例と高齢発症例の比較からみたアミロイド沈着の病態解析	学会発表	2009年9月	第20回日本末梢神経学会, 大宮	小池春樹, 富田稔, 両角佐織, 川頭祐一, 飯島正博, 山本正彦, 安田武司, 向井栄一郎, 伊達紫, 塩見一剛, 中里雅光, 祖父江元	
6. 口腔・顔面領域の先天異常に関する遺伝カウンセリングの現状	学会発表	2009年9月	日本人類遺伝学会第54回大会, 東京	藤原久美子, 山本正彦, 種村光代, 鈴木聡, 古川博雄, 夏目長門	